

チェンジ・メイカー育成プログラム (第3期) リカレント教育セミナー

新しいリーダーを生み出す 社会人PBLと越境体験

人生100年時代は学ぶことと働くことの往還。
教育の新しい流れを理解し、社会人のリカレント教育について「PBL学習」「越境学習」という視点で、新しいリーダーを生み出す研修プログラムについて考察します。

2021.6/18 (金) 13:00~14:00

ZOOM (ウェビナー) による配信

定員 50名

参加費 無料



プログラム

1. 「チェンジ・メイカー育成プログラム」の取り組みについて 説明 宮下 明大 (立命館東京キャンパス所長)
過去2回の取り組み成果と今回のプログラムのポイントについてお話しします。
2. 講演1「教育の新潮流」 講師 後藤 健夫氏 (教育ジャーナリスト)
「探究学習」に代表される「正解のない問い」に取り組む新しい学びのカたちを経て社会へ巣立つ若者がこれから増えてきます。社会人教育や企業での人材育成を考える際、これまでの一斉一律の教育や正解主義からの転換が求められており、PBL型学習 (Project-Based Learning) を事例として、個人と組織のマインドチェンジについてお話しします。
3. 講演2「越境体験による人材育成について」 講師 石山 恒貴氏 (法政大学大学院政策創造研究科 教授)
越境体験とは、普段は所属組織において働いている人が、ベンチャー・NPO・NGO等の (所属組織以外の) 組織に出向いて、一定期間そこにおけるメンバーと共に仕事をした上で、再び所属組織に戻ってきて働くことを指します。近年急速に注目が集まっている越境体験を通じた学びについて、その意義と特徴、ルーブリックを用いた評価と活用などについてお話しします。
4. 「長崎県雲仙市の魅力とオープンイノベーションの取り組み」 説明 加藤 雅寛さん (雲仙市役所 観光商工部 理事)
長崎の魅力と「チェンジ・メイカー育成プログラム (第3期)」を通じて感じて欲しい点などについてお話しいただきます。

【講師プロフィール】



後藤 健夫氏 (教育ジャーナリスト & アクティビスト)
経済産業省「未来の教室」とEdTech研究会専門委員。岡山大学『教育の実質化断行と基盤体制構築による「学びの構造化」の実現』事業外部評価委員などを歴任。現在、執筆の傍ら、学習支援産業の顧問やカリキュラム開発のアドバイザー等を務める。高校や大学、地方自治体での講演、ゲストスピーカー多数。「チェンジ・メイカー育成プログラム (1期・2期)」のファシリテーターを務める。



石山 恒貴氏 (法政大学大学院政策創造研究科 教授)
博士 (政策学)。NEC、GE、米系ライフサイエンス会社を経て、現職。越境の学習、キャリア形成、人的資源管理等が研究領域。人材育成学会常任理事、日本労務学会理事、人事実践科学会議共同代表、一般社団法人シニアセカンドキャリア推進協会顧問、NPO法人二枚目の名刺共同研究パートナー、フリーランス協会アドバイザーボード等。

お申込み

- ① メール【tokyo-kz@st.ritsumeai.ac.jp】
- ② 「Peatix」のサイトで検索 ➡ <https://peatix.com/>
①、②のどちらかより、氏名・メールアドレスをご記入の上、お申し込みください。

お問い合わせ

立命館東京キャンパス「チェンジ・メイカー育成プログラム」事務局
メール: tokyo-kz@st.ritsumeai.ac.jp
電話: 03-5224-8188 (月~金曜日 9:00~17:30)

主催: 立命館東京キャンパス 共催: ジャパンラーニング株式会社

詳しくは 立命館 東京 で【検索】

立命館 東京

